



松田町の思い出を語る渡辺さん。→



↑就任式には多くの報道機関が詰め掛け、渡辺さんの絶大な人気が伺えました。



11月14日に役場にて行われたふるさと大使就任式で、本山町長より委嘱状が手渡されました。がっちりと握手を交わす本山町長(左)と渡辺さん。



松田町ふるさと大使に 横浜高校硬式野球部を強豪校に育て上げた前監督 渡辺元智さんが就任

わたなべ もとのり

「町の青少年育成のためにお役に立ち、全国に松田町の豊かな環境を紹介したいと思っています」

PROFILE

昭和19年11月3日生まれ。松田町のかなん沢自治会出身。松田小学校に4年生まで通い、その後平塚市へ転校する。現在は横浜市在住。

横浜高校・神奈川大学を経て、昭和40年に横浜高校の野球部コーチ、同43年に監督就任。平成27年に勇退するまでに春夏合わせて27度の甲子園出場と5度の優勝を誇り、横浜高校を強豪校に育て上げた名将。

現・ソフトバンクの松坂大輔ら球界を代表する選手を多数指導した経験を生かし、現在は青少年教育や企業などでの人材育成のための講演会で活躍中。今年11月には神奈川文化賞を受賞。

本町では、町にゆかりのある方をふるさと大使に委嘱し、町の魅力を広く発信していただいています。このたび、かなん沢自治会出身で、高校野球で全国制覇を5度も成し遂げた、前横浜高校野球部監督の渡辺元智さんに、ふるさと大使に就任していただくことが決定し、11月14日に役場で就任式を開催しました。

当日は多くの報道機関が詰め掛ける中、本山町長より渡辺さんにふるさと大使の委嘱状が手渡されました。

町長は冒頭の挨拶で、「約50年に渡る野球指導の中で培ってこられた青少年の教育論を、町へ広めていただきたい」と期待を込めて語りました。

渡辺さんは、「監督を引退し、今後は青少年の育成に尽力したいと思っています。ふるさと大使として松田町の青少年のお役に立ち、松田町の豊かな環境を全国に紹介したいと思えます」と意気込みを語りました。

北川大介さん『おもてなしコンサート』開催!

来年1月5日に開催する「賀詞交換会・表彰式」において、町ふるさと大使である歌手の北川大介さんの『おもてなしコンサート』を開催します。同会はどなたでも参加できますので、ぜひお越しください。

平成29年賀詞交換会・表彰式

日時：平成29年1月5日(木)

場所 町民文化センター 大ホール

大ちゃんと 明るく元気に 新年をスタート!

※開演時間など詳細は本紙1月号でお知らせします

【問い合わせ】総務課 庶務係 ☎(83) 1221



松田小学校4年生当時(昭和29年)の渡辺さん

「松田町での子ども時代の思い出を教えてくださいませんか。」松田町は自然の幸に恵まれていたので、遊ぶことには事欠きませんでした。アユ釣りやドジョウ捕りなどをして遊びました。田んぼの中で野球をしたのが私の野球の原点です。

渡辺さんに聞きました! 一問一答インタビュー

「子どもに野球を教えるときに大切にしていることは。」

小さな子どもに複雑な技術を教えずに、本人がどうしたらよいか分からなくて混乱してしまっています。

指導者は基本のみを教え、あとは熱いまなざしで見守り、技術に走りすぎず愛情を持って接することが大切ですね。特に、小さな子どもが良いプレーをしたら、褒めてあげることです。生きることに一緒に、「野球をやりたい」という意欲を持たせれば、自然に学んでいきます。

渡辺さんに今後は、ふるさと大使として、野球教室の講師や、青少年・人材育成のための講演などで活躍いただく予定です。

【問い合わせ】政策推進課 経営戦略係 ☎(83) 1222

防災力をさらに強化

町では大規模災害の発生に備えて、他自治体や民間企業との間に応援協定を結ぶことで防災力を強化しています。

この程、10月28日に松田さくら保育園(社会福祉法人西さがみ福祉会)と、11月1日に株式会社杉山(食品卸売会社)と災害時応援協定を結びました。災害時には、松田さくら保育園は乳幼児とその家族を受け入れる福祉避難所となり、株式会社杉山は飲料水の迅速な調達を行います。

平成28年12月時点で、町は49の応援協定を締結しています。



協定書を掲げる本山町長(左)と杉山社長



本山町長(左)と握手を交わす福山園長

【問い合わせ】安全防災担当室 防災防犯係 ☎(84) 5540

平成27年3月に歌手の北川大介さんと俳優の山崎一さんに就任していただき、渡辺さんは3人目のふるさと大使となります。



俳優 山崎一さん (沢尻自治会出身)



歌手 北川大介さん (河内自治会出身)

松田町ふるさと大使とは 町が誇る美しい自然環境、豊かな歴史、産業、観光及び芸術文化などの魅力を全国に広く発信し、町の知名度及びイメージアップを図ることを目的とした制度です。

ふるさと大使には、町内外で幅広く広報活動を行っていただきます。

少子化に発展的に対応し、より良い教育環境を創造するために

3年(平成29年度から平成31年度)以内に

寄中学校と松田中学校を統合します

町教育委員会では、平成27年度から町立幼稚園、小・中学校の適正規模・配置のあり方について、検討を進めてきました。その間、町の教育環境の現状と課題について、広く保護者や地域住民の考え及び意見を把握するためのあり方座談会や、アンケート調査、町民説明会、保護者説明会を実施し、町民意見募集(パブリックコメント)を通じて町民の皆さまのご意見も伺ってまいりました。町の将来を担う子どもたちにとつての最善策をさまざまな角度から検討し、議論を重ねた結果を提言書にまとめ、9月23日に町長に提出したところ、町は教育委員会の提言のとおり「3年(平成29年度から平成31年度)以内に」を目的に、寄中学校と松田中学校を統合する」という判断に至りました。町の将来にとって大変に重要なことですので、ここに詳しくご報告いたします。



寄中学校



松田中学校

町の結論の要旨

松田町の将来を担う子どもたちの健やかな成長とより良い教育環境を公平に確保する観点から

◆寄中学校と松田中学校を統合し、対象人口が回復するまでの間、寄中学校は閉校することが最善と判断します。

◆寄幼稚園、寄小学校については、現状のまま存続することとします。ただし、3年の間で再度、保護者や地域のご意見を伺いながら、そのあり方を検証することとします。

Q1 寄中学校を、小規模校として残すことはできないのか？

A 小規模校や小規模学級の場合、子ども一人一人に教員の目が行き届くなどの利点はありますが、極端に生徒数が少ない場合には、「男女比の偏りが生じやすい」「切磋琢磨する機会が確保しにくい」「集団づくりが困難になる」など、子どもの成長にとってマイナスの影響が生じる可能性があります。

特に中学生は、学校行事などの集団教育活動や部活動などに制約が生じたり、多様な学習形態が取りにくい状況があります。

また、教科専門の教員の配置ができないなどの課題が生じてきます(単式学級編制から複式学級編制になると、すべての教科の教員配置が困難)。このため、子どもたちの健やかな成長と発達を第一に考え、より良い教育環境を確保するために中学校については、統合する方が望ましいと判断しました。

Q2 なぜ幼稚園と小学校は存続するの？

A アンケート調査や、地域や保護者の方々のご意見で「存続すべき」とする考えが多かったことや、小学生にとっては通学距離が長いこと、精神的な不安や通学上の安全を考慮して存続を選択しました。

幼稚園・小学校は、これまで以上に小規模学校の良さを生かした教育の充実に取り組んでいきます。

中学校統合にあたっての諸課題と今後の取り組み

寄中学校は、昭和22年に開校し、70年に及ぶ長い歴史と伝統を有する、地域の学び舎であり、コミュニティの核でもあります。長く親しまれてきた寄中学校が閉校することは、大変寂しく残念なことです。

しかし、将来ある子どもたちのより良い教育環境と健やかな成長

を支えるという共通認識に立つということが必要であります。特に昨今では子どもの成長や発達をめぐり、いじめや不登校、学力問題などの課題解決のための施策や取り組みが求められています。統合によってより良い教育環境づくりの契機にしていきたいと考えています。

中学校統合に向けては、通学手段の確保や心のケアなどさまざまな課題の解決を図らねばなりません。今後、保護者や教職員などの学校関係者及び地域代表者で組織する統合準備委員会(仮称)を設置し、色々の意見を伺いながら慎重に進めて参りますので、ご理解いただけますよう、お願いいたします。

なお、統合までの移行期間(平成31年度末まで)中に限り、寄中学校の新1年生については、寄中学校、松田中学校のいずれかを選択できるものとします。現在の寄中学校在校生については、引き続き通学していただき、卒業することになります。在校生に対する教育的配慮にも一層努めて参ります。

中学校統合にあたっての諸課題と今後の取り組み

(1) 通学手段の確保

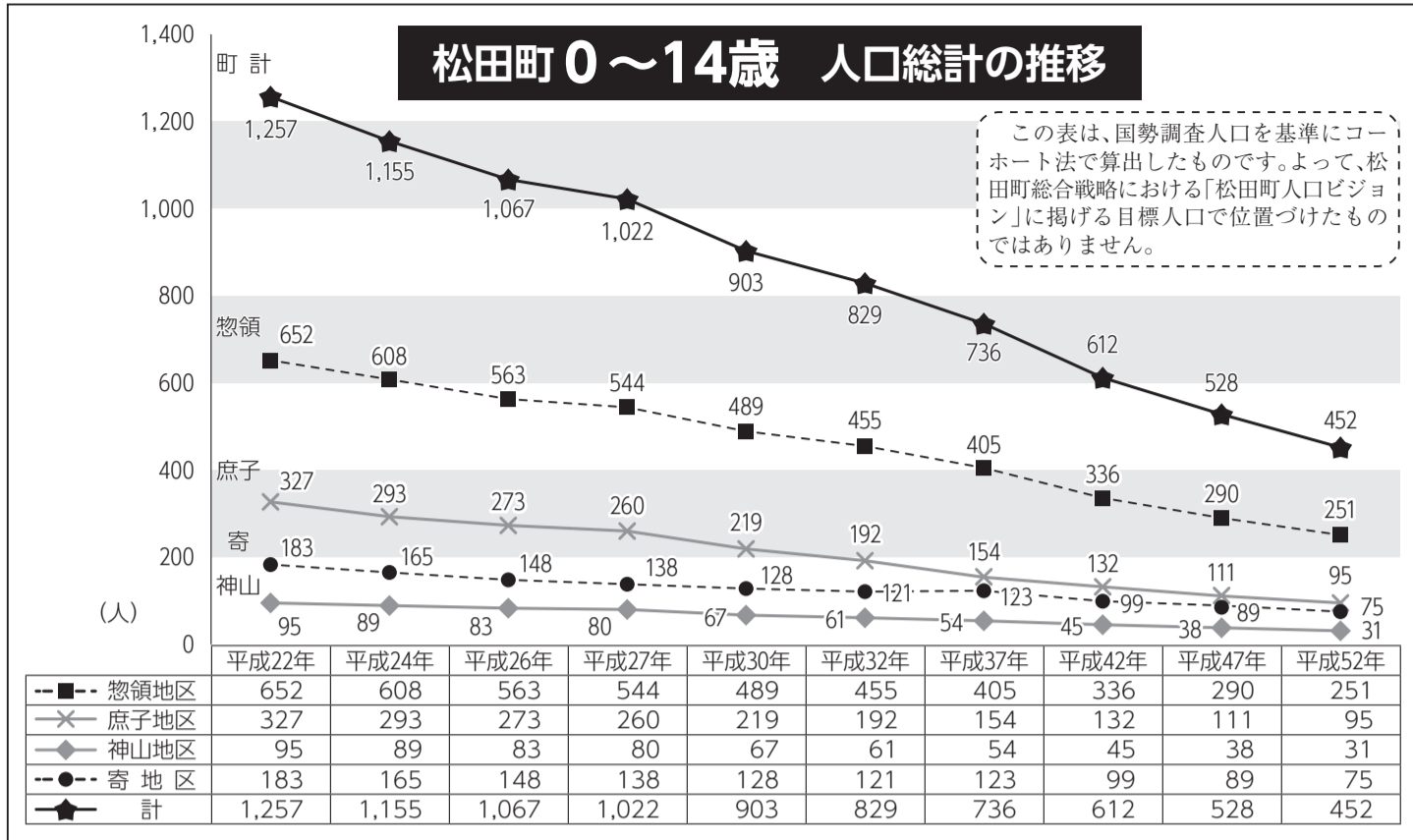
子どもの安全確保を最優先し、路線バス通学の補助拡充及び増発など、通学手段について検討します。

(2) 児童生徒の心のケア

統合にあたって、急激な環境の変化に子どもたちが戸惑い、悩むことが予想されるため、心のケアをしっかりと行っていきます。

(3) 交流の活発化

中学校相互の日常的な交流をより活発に行い、統合時の生徒の心の負担や不安をできるだけ少なくするよう考えています。現在、松田小学校と寄小学校で年に1回交流事業を実施していますが、できる限り交流の回数を増やすことができるよう検討してまいります。



教育委員会での1年半にわたる議論の結果を提言として整理して9月23日に町長へ提出し、町の判断に至りました(右のページ)。このページは、教育委員会が行った取り組みの経緯です。

◎教育委員会の取り組み

■全国的な少子高齢化の波を受け、教育委員会が調査・検討を開始

全国的な少子高齢化の流れを受け、当町でも0歳から14歳の子どもの数が減少しています。そこで、教育委員会が平成25年2月に、寄小中学校PTA会長などで構成する「寄地区学校あり方検討委員会」で議論を重ね、「寄地区の幼稚園、小・中学校を存続することが望ましい」という答申を得ましたが、2～3年後にもう一度見直しを行うという意見が付されました。

また、児童生徒数はその後も減少し、平成29年度には、寄小・中学校すべての学年が10人を割るという状況になりました。これまでも幼稚園、小・中学校では、互いに連携し小規模校の特性を生かしながら子どもたちの豊かな学びと成長を保障するよう鋭意取り組んで参りました。

しかし、このように児童生徒数の極端な減少や小・中学校の小規模化が進み、教育環境や学校運営などに影響が見受けられる現状をこのまま放置して本当に良いのか、学校規模の適正化を巡る問題は、町の大きな教育課題(左囲みは課題の例)となりました。

《生徒数が少ないことによる教育の課題》

- ◇教職員の絶対数が少なくなり、教科に応じた教職員の配置が難しい。
- ◇運動会や音楽活動などの集団教育活動や部活動に制約が生じる。
- ◇多様な考え方に触れ、互いに認め、協力し合い、切磋琢磨する機会などが確保しにくい。
- ◇人間関係において互いの評価が固定化しやすく、クラス替えなどによる問題解決の手法がとれない。
- ◇指導計画、評価計画、教材研究を全て個人作業で行うなど、教職員個々の負担が大きい。

■住民意見の収集と提言書の提出

児童生徒の減少が教育環境に与える影響を把握するために、教育委員会では平成27年度から、「町立幼稚園、小・中学校の適正規模・配置のあり方」に関する意見を保護者や地域住民に伺いました(左囲みのとおり)。

《提言書提出までの経過》

- 座談会(平成27年7月～平成28年2月に5回開催)
 - アンケート調査:(町民・保護者・児童生徒・教員(平成27年12月)回答率52.6%)
 - 町民説明会
 - ・平成28年6月に3回開催 参加者25人
 - ・平成28年8月に2回開催 参加者46人
 - ・平成28年9月に4回開催 参加者49人
 - 保護者説明会(平成28年7月に1回開催 参加者23人)
 - 町民意見(パブリックコメント)の募集(平成28年8月) 応募数5人・12件(本紙8月号に掲載)
- ※パブリックコメントの結果は、町公式サイトをご覧ください。

右のとおり町の教育環境の現状をお伝えし、子どもたちにとっての最善策を1年4か月にわたって話し合ってきました。そして、地域の皆様や学校関係者のご意見を参考に、今後の方向性について教育委員会でも慎重に検討した結果が次の提言となりました。

■町教育委員会が町へ提出した提言書の要旨

- 「寄小中学校は、松田中学校に統合の方向性が望ましい」
- 「幼稚園、小学校は、現状のまま存続をすることが望ましい(ただし、3年を経過した時点で改めて検証を行い、必要に応じて対応する)」

松田の子どもたちのために



今後の予定

統合準備委員会(仮称)を設置し、通学手段、児童生徒への対応、さまざまな事務的な調整や、統合に向けた施設・設備などの問題について、慎重に進めて参ります。

町では、新しい松田町の教育づくりを保護者や地域住民との合意形成を大切にしながら推進していきます。

【問い合わせ】町教育委員会(教育課学校教育係) ☎(83)7023



9月23日教育委員会より町へ提言書を提出

そして、教育委員会では、この1年半にわたる議論を「提言書」としてまとめ、9月23日に町長に提出しました。

【平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果】

平成28年4月に実施した「全国学力・学習状況調査」の松田町立小・中学校の結果をまとめました。「平成28年度全国学力・学習状況調査」は、全国の小学校6年生、中学校3年生を対象に、国語、算数・数学の2教科で実施されました。出題範囲は前学年までの指導事項を原則とし、主として知識に関する問題(A)と、主として活用に関する問題(B)が出題されました。また、生活習慣や学習意欲、家庭学習などに関する質問紙調査も行われました。

【問い合わせ】 教育課 学校教育係 ☎(83) 7023

【1】学習調査(国語、算数・数学)の結果

◆小学校6年生

全教科において、県公立学校の平均正答率と同程度でした。(＋15%以内)

○国語A

目的や意図に応じて、適切な語句や文章を選択したり、図や表と文章を関係付けて読んだりすることに良好でした。一方、学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことや書くこと、また、ローマ字を書くことや読むことについて課題がありました。

○国語B

目的に応じた質問の仕方や質問の意図を捉えることについて、また、問われていることに対しての説明として適切なものを選択することは良好でした。一方、字数制限などの条件に合わせながら、文章の内容を的確に捉え、まとめながら書くことに課題がありました。

○算数A

小数や分数の乗法・除法の計算、単位量当たりの大きさの求め方については良好でした。基礎的・基本的な計算力が身に付いています。一方、割合の意味についての理解は良好でしたが、割合を百分率を用いた図に表すことに課題がありました。

○算数B

乗法や除法の式の意味を理解することや、単位量当たりの大きさを求めるために、適切な情報を選択することは良好でした。また、正方形に内接する円のかき方は理解していますが、図形を構成する角の大きさを基に、多角形を並べてできる形を判断することに課題がありました。

昨年度は設問によって、無回答率の高い問題があり、粘り強く問題に取り組むことに課題がありました。今年度、算数Bでは全設問については、昨年度から改善されてきました。

◆中学校3年生

国語A・Bは、県公立学校の平均正答率と同程度(＋15%以内)でした。

○国語A

文章中に出てくる登場人物の言動の意味を捉えながら内容を理解することや、相手や場面に応じた言葉遣いについては良好でした。一方、パンフレットなどにふさわしい見出しを付けることや、本の奥付の役割を理解し、活用する部分に課題がありました。

○国語B

パンフレットなどから必要な情報を読み取り、問われていることに対して適切なものを選択することは良好でした。一方、字数制限や形式などの条件に合わせながら、文章の内容を的確に捉え、まとめながら書くことに課題がありました。

○数学A

分数と小数の乗法計算や、対称移動した図形をかくことについては良好でした。正負の数を実際の場面に結び付けて理解することや、具体的な場面において比例式をつくること、また、具体的な事象における二つの数量から反比例の関係を見出すことに課題がありました。表から最頻値を読み取ることや近似値と誤差の意味の理解についても課題がありました。

○数学B

関数の関係を表す表からXの値に対応するYの値を求めることは良好でしたが、一次関数の問題を作る場面において、必要な条件を判断していくことや、一次関数のグラフにおいて、グラフの傾きが何を表しているのか理解することに課題がありました。

また、ヒストグラムなどのグラフや代表値を用いて資料の傾向を捉えることや資料から必要な情報を選択し、相対度数を求める式を考えることにも課題がありました。設問によっては、無回答率の高い問題もあり、粘り強く問題に取り組むことについて継続した指導が必要であると考えます。

【2】質問紙調査の結果(全国や神奈川県との比較)

◆小学校6年生

生活習慣

「早ね・早おき・朝ご飯・朝うんち」を推進している生活習慣ですが、概ね全国や県と同じ傾向にあります。中でも、早ねに関して、10時前までに寝る割合は全国や県に比べて高く、比較的、生活リズムが安定していることが伺えます。

コミュニケーション能力

友だちの前で自分の考えや意見を発表することが得意な割合が全国や県よりも高い傾向にあります。5年生までに、自分の考えが相手に伝わるように、話の組み立て方を工夫して発表していたという割合が全国や県よりも高く、学校の授業や行事の中で取り組んできたこれまでの成果が出ていると考えられます。

家庭学習・家庭生活

家庭で、学校の授業の予習・復習を行っている割合が全国や県よりも高く、家庭での学習が習慣化されていることが伺えます。また、1日あたり1時間以上学習している割合も全国や県よりも高い傾向にあります。昨年度、全国や県よりも割合が高かった携帯電話やスマートフォン等の長時間使用(1日1時間以上)については、今年度は全国や県と比べても同程度となり、比較的解消されつつあります。

しかし、依然として、ゲームの長時間(1日1時間以上)の使用は全国や県よりも高い傾向にあり、今後も継続して改善していく取り組みが必要と考えます。

自己肯定感

自分に良いところがあると考える割合や、難しいことでも失敗を恐れないで挑戦するという割合が全国や県よりも高い傾向にあります。今後、自己肯定感をより一層高め、自己有用感を感じるまでに高めていくことが必要ではないかと考えます。

地域参加

地域の行事への参加する割合が全国や県に比べて高く、地域との深い関わりを持ち、地域の中で育っていることが伺えます。一方で、新聞を読んでいる割合や、テレビやインターネットでニュースを見ている割合が低く、社会で起きている出来事への関心を高めていくことが必要ではないかと考えます。

◆中学校3年生

生活習慣

生活習慣に関しては、概ね全国や県と同じ傾向にあり、比較的、生活リズムが安定していると思われ。しかし、0時以降に就寝している生徒の割合が全体の四分の一程度であり、この点については改善していく必要があると考えます。

コミュニケーション能力

友だちの話や意見を最後まで聴くことができる割合は、ほぼ全国や県と同程度です。授業で自分の考えを説明したり、文章に書いたりすることは難しくないと考えている生徒の割合が高い一方で、友だちの前で自分の考えや意見を発表することが得意ではないという生徒も多く、今後、自分の考えや意見を説明できる力を身に付けていく学習が、より一層必要ではないかと考えます。

家庭学習・家庭生活

家庭で、学校の授業の予習・復習を行っている割合、また、1日あたり1時間以上学習している割合が全国や県よりも低い傾向にあります。今後、1日の生活の中で、家庭学習の時間を確保していく必要性があると考えます。

家庭生活上においては、テレビやゲームの時間(1時間以上)、携帯電話やスマートフォンを使用している時間(1時間以上)の割合が全国や県よりも高い傾向にあり、この点が就寝時刻の遅さや、家庭学習の時間を十分に確保できない要因の一つになっていると考えられるので、今後改善していく必要性があります。

自己肯定感

自分に良いところがあると考える割合や、将来の夢や目標をもっているという割合が全国や県よりも低い傾向にあります。また、難しいことでも失敗を恐れないで挑戦するという割合も低い傾向にあり、達成感を感じるような活動などを通して、生徒の自己肯定感を高めていくことが課題であると考えます。

地域参加

社会で起きている出来事への関心や、ボランティア活動に参加したことがあると答えている生徒の割合は全国や県と同程度です。また、昨年度と同様で、地域の行事への参加の割合が全国や県に比べて高く、地域との深い関わりを持ち、地域の中で育っていることが伺えます。

(1)学習調査(国語、算数・数学)

【調査の内容】

《主として「知識」に関する問題(A)》	《主として「活用」に関する問題(B)》
<ul style="list-style-type: none"> 身に付けておかなければ後の学年などの学習内容に影響を及ぼす内容 実生活において不可欠であり、常に活用できるようにになっていることが望ましい知識・技能 	<ul style="list-style-type: none"> 知識・技能などを実生活のさまざまな場面に活用する力 さまざまな問題解決のための構想を立て実践し評価、改善する力

(2)質問紙調査

《児童生徒に対する調査》	《学校に対する調査》
<ul style="list-style-type: none"> 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面などに関する調査 	<ul style="list-style-type: none"> 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備などに関する調査

今回の調査結果から

- ◎各学校においても調査結果について分析し、課題点を見つけ、その克服に向けた取り組みを教師間で共有していきます。
- ◎児童生徒の学習に対する関心・意欲を一層高め、分かり合う喜びのある授業づくりを目指していきます。
- ◎次期学習指導要領のキーワードである「アクティブ・ラーニング」を活用し、児童・生徒に、自分の考えや意見を説明できる力を高めていきます。
- ◎児童生徒の自己肯定感・自己有用感を高めていけるよう、今後も学校、家庭、地域との連携を進めながら、児童・生徒の成長を見届けていきます。

政策推進課 小野主査の ふるさとグローバルプロデューサー研修報告 Vol.1 2016.7⇒2017.3

【問い合わせ】 政策推進課 経営戦略係 ☎ (83) 1222



研修先の石川理事(左)より説明を受ける小野主査。



梅酒まつりは4日間で約4千人が来場しました。



梅酒まつりでは表彰式も行われました。写真は明星代表理事(左)と受賞者。

本紙8月号でお知らせしたとおり、政策推進課の小野敏紀主査は、今年7月から来月3月まで、職員としてのキャリアアップのための「ふるさとグローバルプロデューサー」等育成支援事業(※)の研修に参加しています。

研修先は、「一般社団法人梅酒研究会(代表理事明星智洋・東京都新宿区)」に決定し、日本の食文化として世界に誇れる梅酒の素晴らしさを国内外に広める活動について現場での実践経験を積むOJT(オン・ザ・ジョブ・トレーニング)・職場実務による知識や技術の習得(研修)に入りました。

10月7日〜10日にかけて湯島天満宮(東京都文京区)にて開催された「全国梅酒まつりin東京2016」では、大規模イベントの運営や世界を視野に入れた販売促進について学び、10月中旬からは、茨城県ひたちなか市にて、理事の1人である石川誠氏のもとで酒類販売の研修を受けました。

来月号では11月に受講した梅酒製造の現場視察についてご報告します。

※中小企業庁の補助事業として、日本国内の地域産品を海外に売り込むプロデューサー育成を目指す事業

地域の力×民間企業×行政 を結集させ、
寄地区を愛犬との共生をキーワードとした「癒しの里」に!

「Yadoriki Healing Village 創生事業」 ～愛犬との共生が癒しと賑わいを創出する 里づくりプロジェクト～

予定している主な事業

(1) 寄地区の発展に実践的・主体的に関わる人財の育成

(2) 地域素材を活用した商品やドッググッズ、無添加ドッグフードの開発など

(3) ドッグラン及び周辺施設のリノベーションなど



町は、国の地方創生加速化交付金など約7700万円を活用し、地域住民・民間企業・行政が協働して、寄地区に「癒しの里」をつくり、経済の活性化と雇用の確保による人口の増加を目指す。

受託事業者は「ランドブレイン(株)横浜事務所」と「株足柄グリーンサービス」の連合体に決定!

「やどりき癒しの里」Yadoriki Healing Village 創生事業」に取り組んでいます(広報まつだ9月号参照)。

このたびは事業パートナーとなる民間企業が「ランドブレイン(株)横浜事務所(本社:東京都千代田区)」と「株足柄グリーンサービス(南足柄市)」の連合体に決定しましたのでお知らせします。

本事業は、寄地区に点在する「食」「モノ」「ヒト」「芸術」といった資源などを結びつけることで、寄ふれあいドッグランなどの地域資源を効果的に活用し、寄地区の豊かな自然環境の中で、愛犬が自然を楽しみ、愛犬が心身を癒されることで、愛犬家も幸せになれるようなオンリーワン産業を誕生させ、地域の賑わいの復活や新たなビジネスチャンスの構築、定住・移住化の促進を目指すものです。

有害獣被害実態の調査

現在、町では、地域・民間・行政の力を結集し、本事業を効果的に推進していくため、協議会や部会を立ち上げ、地域の方や専門家の方々とともに事業の具体的な進め方や詳細部分を協議し、実行に移しているところです。

て農家の方々や猟友会を中心としたくわいな講習会を開催します。

- 12月10日(土)：寄地区
- 12月11日(日)：松田地区

(詳細については回覧でお知らせします)

多くの方々への使用方を学んでいただき、各猟友会と連携しながら農作物被害を軽減させる体制づくりに取り組みます。

自治基本条例の理念について引き続き議論

本事業では、「有害獣被害等実態調査委託」を実施します。

受託事業者は「(株)地域環境計画神奈川事務所」に決定しましたのでお知らせします。

近年、有害獣による農作物被害が発生し、農家の方々の生産意欲が減退している状況を打開するため、被害実態調査や捕獲活動を行います。その一環として

地域の持続的な発展や賑わいの創出には地元の方々のお力添えが欠かせないものとなりますので、引き続きのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【問い合わせ】
観光経済課 観光推進係・商工農林係 ☎ (83) 1228

みんなでつくりよう 自治基本条例!!

〈松田町民憲章：抜粋〉

1. まちの心が高まること
1. 文化の香りあふれること
1. 活力にあふれること
1. 平和なまちをつくること
1. 愛の輪が広がること

「自治基本条例」については、本紙において順次掲載しているところですが、前回(本紙10月号)第3回審議会)掲載後の議論の状況をお知らせします。

第3回審議会以降、「自治基本条例の理念(方向性)」を形成する条例前文を主題として議論しています。

9月30日(金)開催の第4回松田町自治基本条例(仮称)審議会では、これまでの意見を時間軸(過去・現在・将来)で整理し、集約を行いました。

この中で「これまで」と「これから」のまちづくり

を結び合わせるため、町制施行80周年(平成元年)時にまちの発展を願う旨の「松田町民憲章」を制定した「松田町民憲章」をまちづくりの基本的な方針等を謳った宣言書」を活用し、理念を構成することなどが提案されました。

また、第5回審議会(10月25日(火)開催)では、第4回意見を反映し作成した「条例前文たたき台」にて、文章に込める思いを確認し合いました。

これからの、協働のまちづくりに必要な議論を行ってまいります。

【問い合わせ】 政策推進課 経営戦略係 ☎ (83) 1222

「松田町」と「乾杯!」

松田町長 本山博幸

寒風が身を切り、温かいモノがちよいと恋しくなる師走。

本年も、年の瀬までもう少しとなりました。町長の任を賜ったこの3年2か月の間、皆様の生の声を町政に活かして参りましたが、「まだまだ!」という叱咤激励に、今一層の「本気」が求められていると責任を痛感しています。

そのような中、関係各位のご協力によって、若い世帯の移住・定住者、子供の出生数、百歳を超える御長寿な高齢者が増えつつあり、町が元気になる兆しが見え始めました。また、喜ばしいことに、松田町3人目のふるさと大使に前横浜高校野球部監督の渡辺元智氏に就任頂き(本紙1面で紹介)、本年10月からは私が足柄上郡5町の町村会長に就任し、先輩首長のご指導を賜りながら務めています。来年の3月には松田町警察署が完成し、また、県道の拡張・改良工事も順調に進められており、今後は、かつて郡都と呼ばれていた松田町が中心となつて、足柄上地区全体を更に発展させていかななくてはならないと決意を新たにしました。

これから松田町が活気を取り戻していくステージには、さまざまな節目を迎えることとなります。そんな喜ばしい節目において、日本には古来から「乾杯」で祝いさらなる発展を呼び込む風習があります。この「乾杯」は、松田の清らかな水で作られた地酒、地元のみかんや野菜で作ったジュースなどで、盛大に「乾杯」しましょう!祝いの席を華やかせ、松田町の郷土愛を語り、「未来へツナグ」、新たな松田町物語の1ページを刻んでください。

町が一丸となり過去と未来を「ツナグ」事こそ、我々の責務として、今後も「松田創生」に取組んで参りますので、来年も、ご支援ご厚情を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

どうぞ健やかな新年をお迎えになられますよう重ねてお祈り申し上げます。乾杯!



脳年齢・血管年齢のほか気になる肌年齢まで いつでも気軽に健康チェックができます！



健康福祉センター2階に 未病の見える化コーナー OPEN!

利用時間：午前9時～午後4時（平日のみ）
利用無料。予約は不要です。



①脳年齢計：脳年齢が分かります



②血管年齢計：血管の柔軟性が分かります



③血圧計：最高血圧、最低血圧、脈拍が分かります



④骨健康度測定計：骨の健康度が分かります



⑤体組成計：体重、BMI、体脂肪率、筋肉量などが分かります



⑥肌年齢計：肌年齢、肌健康度が分かります

このコーナーには、脳年齢計・血管年齢計・血圧計・骨健康度測定計・体組成計・肌年齢計の6種の健康機器を設置しています。手軽に自身の健康状態を数字で確認して把握することで、健康管理に役立てることができます。看護師が常駐し、機械の使い方や、測定結果の見方が分からない方には説明しますので、ぜひお気軽にご利用ください。また、奇数月の第2木曜日には、保健師、栄養士による「おとな健康相談」を開催し、町民の皆さんの健康寿命の延伸を目指しています。ぜひ、毎日の健康づくりにご活用いただき、楽しく健康長寿を目指しましょう！

【問い合わせ】子育て健康課
健康づくり係 ☎(84) 5544



11月から町健康福祉センター2階に、「未病の見える化コーナー」を開設しました。神奈川県が進める「未病の改善」に取り組むため、国による地方創生加速化交付金の補助を100%受けて開設したもので、6種の健康機器を設置し、いつでも気軽に自分の健康状態をチェックすることができます。

NEWS 3階「健楽の湯」には 酸素カプセルを導入しました！

疲労回復、美肌、ストレス解消、ケガの治療促進に効果が期待できます。(写真はHYBRID OXY)



●事前予約制 ●利用料がかかります
【問い合わせ・予約】健楽の湯 ☎(84) 1196

12月3日から9日は

障害者週間

○障害者週間とは？

国民が障がい者の福祉について広く関心を持ち、理解を深め、障がい者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として障害者週間が設けられました。2市8町（小田原市、南足柄市、足柄上郡5町、足柄下郡3町）では、下記のとおり障害者文化事業を開催します。

第35回 県西地区障害者文化事業

～つなごうみんなの心～

- 日時 12月10日(土) 午前9時30分～午後3時
- 場所 小田原市川東タウンセンター マロニエ3階ホール・301集会室
- 内容 ○作品展 ○手作り製品販売
○交流会
(楽器演奏、踊りなどのアトラクション)

【問い合わせ】 中井やまゆり園 ☎(81) 0288

平成28年度 北朝鮮人権侵害問題 啓発週間 12月10日(土)～16日(金)

拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題についての関心と認識を深めるため、法律により「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」が定められています。拉致問題についての、関心と認識を深めていくことが大切です。

特定失踪者パネル展

12月13日(火)～18日(日)の期間中、町立公民館(町民文化センター)正面入口 ホワイエに展示しています。

【問い合わせ】子育て健康課 子育て支援係 ☎(84) 5544

英会話教室 English Space 広告

- キッズクラス～大人クラス
- 小人数制(3～6人)できめ細やかに指導します。
- 1時間レッスン 月4回 月謝 6,500円

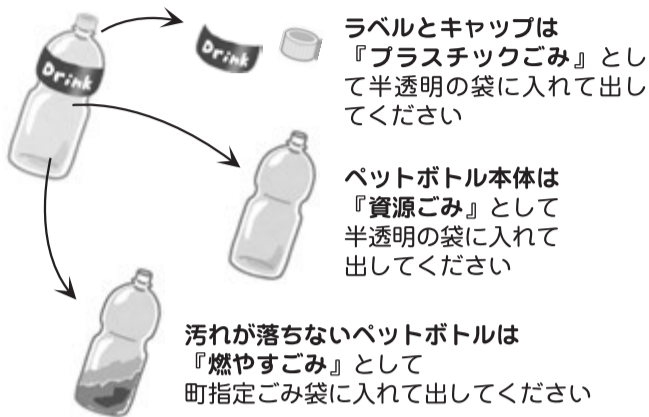
生徒さん募集中です。詳細は下記にお問合せください。

お問合せ先 松田町松田庶子1542-1 (伊藤 潤)
TEL:0465-83-1605
E-Mail:english-space123@outlook.jp



広報9月号でもお知らせしましたが、正しく分別されず、違反ごみとして収集されないペットボトルが多く見受けられるので、再度お知らせします。

ペットボトルの出し方



ラベルとキャップは『プラスチックごみ』として半透明の袋に入れて出してください

ペットボトル本体は『資源ごみ』として半透明の袋に入れて出してください

汚れが落ちないペットボトルは『燃やすごみ』として町指定ごみ袋に入れて出してください

10月分 燃えるごみのデータ

注目

- 収集量 約192 t (昨年同月は 約196 t)
- 収集運搬費 約202万円 (平成28年4月からの累計 約1,459万円 / 今年度予算額2,700万円)

CHECK

収集量は、昨年同月比約2.0%減です。収集運搬費は、約55,000円減となりました。(収集運搬費は昨年同月との差額です。毎年収集単価は異なるので、同量の収集費であっても、差が出ることがあります。)

【問い合わせ】環境上下水道課 環境係 ☎(83) 1 2 2 7

第18回 こちら安全防災担当室

火災発生時の行動について①

【問い合わせ】安全防災担当室 防災防犯係 ☎(84) 5 5 4 0

火災が発生したら、まず大きな声で周囲に知らせましょう。その後、「通報」「初期消火」「避難」の順に行動するのが原則です。なお、次号では「初期消火」「避難」の具体的な方法についてご紹介します。



火災時はパニックになりやすいので、ゆっくりと話すように心がけましょう！

通報

隣近所に早く知らせる

<周知方法>

- ①大きな声で「火事だー！」と叫び、隣近所に知らせる。声が出ないときは、非常ベルを鳴らすか、やかんやなべなど音が出るものをたたく。
- ②どんなに小さな火事でも必ず119番通報する。

「119」のかけ方

覚えておこう！

●通報要領

- ①火災であることを伝える
- ②災害現場の場所(住所)
- ③何が燃えているか
- ④けが人や逃げ遅れている人がいるか
- ⑤かけている電話番号を伝える
- ⑥通報者の名前を伝える

●携帯電話の場合の注意事項

- ①所在や目標を確かめてから通報する
- ②携帯電話であることを伝える
- ③自動車からの通報は、安全な場所に停車してから通報する
- ④通話終了後もしばらくは電話を切らないようにする
- ⑤途中で通話が切れないように注意する
- ⑥高速道路では災害地点を正確に伝える

平成28年度 文部科学省 社会教育功労者表彰

11月10日に文部科学省講堂（東京都千代田区）で開催された「平成28年度 社会教育功労者表彰」において、町社会教育委員会議 議長の前田恵美子さんが表彰されました。前田さんは平成14年4月から現在まで町社会教育委員会議委員として委任され、平成20年からは町社会教育委員会議議長として、本町の社会教育を積極的に推進していただいております。この功績を称え、神奈川県代表として表彰されました。



【問い合わせ】教育課 生涯学習係 ☎(83) 7021

活動内容

- ①観光ボランティア：来場者へのご案内や町・周辺地域の紹介
- ②清掃ボランティア：ごみ拾いなどの清掃活動

活動期間 まつだ桜まつり期間中（平成29年2月11日(土・祝)～3月12日(日)）
※まつり期間中のご都合の良い日にご参加ください

講座日時 未定。2～3回を予定。ご応募いただいた方に、追って連絡いたします。

活動場所 西平畑公園ほか

申込期限 平成29年1月6日(金)

【申し込み・問い合わせ】
観光経済課 観光推進係・公園係
☎(83) 1 2 2 8

春に行われる「まつだ桜まつり」にボランティアとしてご協力いただける方を募集します。「松田町のことをお客様にPRしたい」「ごみ拾いなどの清掃活動に協力したい」という方、お客様をおもてなししてみませんか。
参加を希望される方には、観光ボランティア養成講座を開催しますので、ぜひ、ご参加ください。

まつだ桜まつり

ボランティアとして参加しませんか？

♪松田きらきらフェスタ♪ で楽しいクリスマス

12/25(日)まで開催中
点灯時間
午後5時～9時

クリスマスの西平畑公園は楽しいイベントがいっぱい！ぜひ皆さままでお出かけください

12/17(土) 午後5時30分～
(ハーブ館3階レストラン)

クリスマスコンサート
出演：holo-holo(ホロ-ホロ)

クリスマス列車運行

期間中のみ、ふるさと鉄道はサンタクロースが運転する「クリスマス列車」になります！★運行期間を延長しました！

12/11日(日)まで→12/25(日)まで

- 12/18(日)までの土・日・祝日 1日8便(午前10時35分～午後3時35分)
- 12/23(金・祝)～25(日) 1日7便(午前10時35分～午後3時10分)

12/23(金・祝)～25(日) 午後6時～

小学生以下のお子様にクリスマスプレゼント(各日100個限定)をご用意。サンタを見つけてプレゼントをもらおう！

【問い合わせ】観光経済課 公園係 ☎(83) 1228
松田山ハーブガーデン ☎(85) 1177



松田山ハーブガーデン info

12/17(土)17:30～ holo♪holo クリスマスミニコンサート
年末年始の休園日：12/28(水)～1/3(火)

☆松田きらきらフェスタ☆ 12/25(日)まで毎日営業しています！！
1月～2月中旬(まつだ桜まつり)開催まで冬季営業の為、16時閉園となります。
【公式Facebookはじめました】皆様からの「いいね！」お待ちしております♪

ハーブ教室 12月「クリスマスリース」各5名※要予約(木曜日10時半から)

ハーブ教室は10:30からスタート。今年度より事前予約制&定員制となりました。
松田山ハーブガーデン 〒258-0003 神奈川県足柄上郡松田町松田惣領 2951
TEL:0465-85-1177/FAX:0465-85-1176 http://www.seibu-la.co.jp/matsudayama-hg/

学びの広場 2016

第68回 人権週間 12月4日(日)～10日(土)
みんなで築こう人権の世紀

「考えよう相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合おう心」
(法務省 平成28年度 啓発活動重点目標)
【問い合わせ】教育課 生涯学習係 ☎(83)7021

かけがえのない命と人権

私たち一人ひとりには、かけがえのない「命」があり大切な存在です。人間の尊厳に基づく人権「生きること・幸せであること・自由であること」が全ての人に保障されています。憲法では、人権が基本的人権として侵すことができない権利とされています。

温かい人間関係の構築が大切

私たちは、日々心豊かに暮らしたいと願っています。差別やいじめ、虐待などの人権侵害や人権問題が発生しています。これは、思いやりの心やお互いの人権を認め合う心の希薄さ、自己中心的な主張の強さなどが考えられています。偏見や差別をしない、人権を尊重する思いやる心やお互いを尊重する精神を培うことが大切です。そして一人ひとりが、差別を「しない」「させない」「許さない」人権感覚や人権意識を身につけることです。

かながわ人権施策推進指針

神奈川県は、次の人権問題の分野別施策を取り上げています。
子ども／女性／障害者／高齢者／患者等／同和問題／外国籍県民／ホームレス／犯罪被害者／北朝鮮によって拉致された被害者等さまざまな人権課題

「きれいな心のままで」

茨城県日立市立久慈中学校1年

五来 拓斗



辰ちゃんは、ぼくの生まれた時には家にいた。庭の草取りやゴミ出し、店のかたづけなどをしていた。辰ちゃんは片手分しか数えられない。おつかいを六個以上たのむと五個までしか買ってくれなかった。辰ちゃんは、知的障害。五十年前に身よりのない辰ちゃんを、祖父が働き手として、引き取った。六十才を過ぎて、三十キロの米袋を軽々と持ち上げた。わが家で一番の力持ちだった。

母から聞いたのだが、辰ちゃんは兄やぼくを大好きだったという。赤ちゃんの頃、母は芝生の上に歩行器を置き、ぼくらを乗せて遊ばせたりした。辰ちゃんは、庭仕事をしながら、ぼくらを見て喜んでくれた。ぼくが幼稚園生になると庭で捕まえた生き物をプレゼントしてくれた。サワガニ、カマキリ、チョウチヨウ。ナナフシにカミキリムシ。カナヘビやミミズ、いも虫にムカデまで持ってきた。

ぼくが水あそびをする時は、ぼくの肩にやさしくじょうろで水をかけてくれた。顔にかけられないように注意しながら遊ぶ様子に母は辰ちゃんの優しさを感じたと言っていた。

辰ちゃんは、物が捨てられない。ゴミに出したはずの食器や古着を自分の部屋に持って行ってしまい、父に叱られた。でも、物のない時代に育ったから仕方ないんだと母は言っていた。それから、辰ちゃんはいしん坊。みんなと同じ食事をしていないのに、食べたい欲求がいつもあつた。ピワの実がなると危ないのに木のぼりをして取って食べた。柿がなると、渋柿なのに平気で食べて叱られた。

辰ちゃんは、兄を「りいくん」ぼくを「たあくん」と呼んだ。どもりながら「とつとつともだちできたのけ」「かっかっかわいいなあ。おろごうだね」と、頭をなでながら言った。小さい頃は、ぼくらと遊んでくれた辰ちゃんだったけれど、小学生になると、ぼくらが辰ちゃんと遊んであげるようになった。かけっこをする時は辰ちゃんが転ばないようにスピードを出さないで走った。キャッチボールは辰ちゃんが取れるようにやさしく投げた。風が吹くと辰ちゃんと一緒に風に当たった。アイスと一緒に食べた。ぼくは、お菓子をうれしそうに、大事そうに受け取る辰ちゃんが好きだった。

ある日、辰ちゃんがいなくなった。病気で入院したらしい。とても寂しかった。わが家のリビングには、辰ちゃんとぼくらが一緒に笑っている写真がある。兄は辰ちゃんを心のきれいな人だと言った。母は、無心に働く立派な人と言った。父は、辰ちゃんも大切な家族だと言った。

ぼくは、障害者という呼び方はあまり好きではない。辰ちゃんは知的障害者だったけれど誰よりもきれいな心を持っていた。働いて食べて、一生懸命に生きていた。誰も傷つけたりしない。生き物が大好きで、小さな命を大切にしたい。いつも笑っていた。

ぼくは、辰ちゃんのような人が世の中にはいっぱいいると思う。ちゃんと役に立っているし、働いているのに差別されてしまう。とても悲しい事だ。辰ちゃんは誰も傷つけないと言ったが、ぼくも人を傷つける事ができない。意地悪をした相手に嫌な気持ちがあっても、傷つけるような言葉をぶつけれない。ぼくは、自分が弱いからだと思っていた。けれども、母は優しい心の辰ちゃんや兄と一緒にいたからなんだと言った。辰ちゃんは子供のような人だったので、時々叱られた。でも、父や母は小さい子供に話すように、分かりやすい言葉で叱った。叱られて辰ちゃんは、シユンとなったが、お菓子をもらおうと元気になった。ぼくの家族は、弱い人を傷つけない。

最後の間に、ぼくの心にも同じ気持ちがいっぱいだった。最後は、この作文を書くために基本的人権について調べてみた。憲法には、人間が人間として基本的な権利を持っている権利は侵害される事なく尊重されるべきであると書かれていた。また、平等権とは差別されない権利と書いてあった。今の日本はどうだろうか。障害のある人を差別していいのだろうか。

ぼくは、辰ちゃんに出会って無心に働く事のすばらしさを知った。きれいな心のまま生きる辰ちゃんをステキだと思った。障害者を弱者というが、「弱者」ではなく、「弱い人」とぼくは言いたい。世の中の人が、弱い人に優しくなったらいいなあと思ってしまう。ぼくは、「助けが必要な人」をサポートしてあげられる大人になりたい。

(原文のまま掲載してあります)

法務省人権擁護局・全国人権擁護委員会主催

第34回 全国中学生人権作文コンテスト 文部科学大臣賞作文

お互いの立場を認め合い、共に優しく生きていく姿が描かれています。温かく思いやりが感じられます。家族みんなが温かく辰ちゃんの立場を理解し、偏見や差別なく生活しています。

思いやりの心、優しい心の醸成は、私たち大人が家庭・地域・社会で、未来に生きる子どもたちを育てるのには必要ではないでしょうか。

(評・生涯学習係 学びの広場担当)

※今月の文化財探訪はお休みさせていただきます

特設人権相談

町では、町民の皆さんの人権などに関する相談を行っています。一人でも悩まずにどうぞご相談ください。

日時：12月10日(土) 午後1時～3時(受付は2時30分まで)
場所：町立公民館(町民文化センター) 第一会議室
【問い合わせ】子育て健康課 子育て支援係 ☎(84)5544

人権教育研修会(兼)町民大学

日時：12月10日(土) 午前9時30分～11時30分
場所：町立公民館(町民文化センター) 1階展示ホール
内容：講演「災害時の障害者の人権を考える」
講師：いわき市いわき自立生活支援センター前理事 小野和佳氏
研修会には是非ご参加ください。

お知らせ

町公式サイトやTwitterでも、随時情報発信しています。ぜひご覧ください。

町図書館 ☎(83) 7024
開館時間：午前9時30分～午後5時
休館日：毎週月曜、14、28～31日

寄出張所図書館 ☎(89) 2126
開館時間：午前9時30分～午後4時
休館日：土、日、祝日

おはなし会 場所：子どもコーナー (小学校低学年まで)

12月10、24日(土) 午前10時30分～11時
(乳幼児対象) おひざにだっこのおはなし会
12月22日(木) 午前11時30分～正午

冬の特別おはなし会
12月17日(土) 午前11時～

新着図書 ～毎週木曜日から貸出。～
ホームページから確認できます。

- **一般書** (書名) (著者名)
「欧州複合危機」苦悶するEU、揺れる世界 遠藤 乾
「コンビニ人間」 村田 沙耶香
「西一番街ブラックバイト」 池袋ウエストゲートパークⅦ 石田 衣良
「蜜蜂と遠雷」 恩田 陸
「最悪の將軍」 朝井 まかて
「父よ、ロンググッドバイ」男の介護日誌 盛田 隆二
「水戸黄門」天下の副編集長 月村 了衛
「美しい距離」 山崎 ナオコーラ
 - **児童書**
「じゃんけん学」起源から勝ち方・世界のじゃんけんまで 稲葉 茂勝
「ルルとララの Cotton のマカロン」あんびる やすこ
「また おこられてん」 石川 えりこ
「飛び込み台の女王」 マルティナ・ヴィルトナー
「おかあさんは、なにしてる？」 ドロシー・マリノ
- …ここに載せたものは新着図書の一部です…
リサイクル棚：貸出終了となった館内本、雑誌寄贈などが並びます。
本の寄贈：新刊本、昔の町についての資料などがありましたらご提供をお願いします。

西平畑公園
開園時間：午前9時～午後4時
休園日：毎週月曜日(5、12、19日の午後5時～9時は開園します)12月28日～1月3日まで年末年始休園)
連絡先：観光経済課 公園係 ☎(83) 1228
※悪天候などで休園になることがありますのでご了承ください

子どもの館 ☎(82) 9869 FAX(20) 4693
開館時間：午前9時～午後4時
休館日：毎週月・火曜日

たのしい広場「鉄道模型(Nゲージ)運転日」
日時 3日(土) 午前10時～正午 参加自由
講師 運転士 吉田輝夫さん
対象 乳幼児・保護者、小・中学生～一般
申し込み 前日までに子どもの館へ(電話かFAX)

定例伝承文化教室

- **和太鼓教室**
日時 10日(土) 午前10時～正午 「道祖神太鼓」ほか
対象 乳幼児・保護者、小・中学生～一般
申し込み 前日までに子どもの館へ(電話かFAX)
- **声とからだであそぼう！わらべ歌**
日時 15日(木) 午前11時～正午
講師 田村洋子さん(NPO法人日本わらべ歌協会理事長)
対象 乳幼児・保護者、小・中学生～一般
定員 20人
内容 「にぎりぱっちり」「いちじくにんじん」ほか
申し込み 前日までに子どもの館へ(電話かFAX)

たぐらが劇場「おひさまにっこり冬至の集い」

日時 11日(日) 午後1時30分～2時30分 参加自由
内容 かほちゃわりと絵本
「ぐりとぐらとすみれちゃん」
対象 乳幼児・保護者、小・中学生～一般
申し込み 前日までに子どもの館へ(電話かFAX)
・「今月の折紙」は年末年始休館のためお休みとなります

伝承あそび「はじめの一步」

日時 4日(日)・17日(土)・18日(日)
午前10時～正午
内容 こま・けん玉・お手玉・折り紙・わらべ歌・あやとり ほか
*種目についてはお問い合わせください

自然館 ☎(82) 7345 FAX(20) 4794
開館時間：午前9時～午後4時
休館日：毎週月・火曜日

「落ち葉で楽しもう」
～落ち葉とカブトムシの会-第3回～
主要内容 ・カブトムシのエサ(堆肥)作り
・カブトムシの住む森作り
・落ち葉のステンドグラスとしおり作り
日時 10日(土) 午前9時～正午
場所 自然館樹木園・実習室
持ち物 軍手
定員 30人
申し込み 前日までに自然館へ(電話かFAX)

「キャンドルの楽しみ」
～廃油でキャンドル～
主要内容 ・廃油で楽しいキャンドルを作る
・木の実でキャンドル作りに挑戦！
日時 17日(土) 午前9時30分～11時30分
場所 自然館実習室
持ち物 あれば廃油をペットボトル500ml程度
定員 20人
申し込み 前日までに自然館へ(電話かFAX)

この他にもいろいろな行事を開催します。詳しくは町公式サイトをご覧ください。

●戸籍の窓 ※掲載承諾者のみ(敬称略)

10月16日から11月15日まで受け付けた方

お誕生おめでとう

赤ちゃん	保護者	地区
津田 莉来	和也	谷津
稲垣 彰	浩	中丸
高橋 椋倫	真幸	神山
ますみず 水琉	和代	仲町屋
あおき 青木 太陽	千里	神山

お悔やみ申し上げます

氏名	年齢	地区
尾崎 勉	81歳	弥勒寺
おおしま 大島 菊美	82歳	かなん沢
ないとう 内藤 昭子	63歳	宮前
なかむら 中村 富子	90歳	宇津茂
はしはら 橋本 勝頼	85歳	神山

保 健

◎ **ママパクラス**
12月3日(土) 午前9時45分～10時
●平成29年1月7日(土) 午前9時45分～10時
山北町健康福祉センター

◎ **すくすく育児相談・おっぱい相談**
12月6日(火)、平成29年1月10日(火)
午前9時30分～10時30分

● **定例ウォーキング**
12月12日(月) 午前9時30分
健康福祉センター西側三角堤公園

◎ **3～4か月児健康診査**
12月21日(水) 午後0時45分～1時

◎ **おとな健康相談**
平成29年1月12日(木) 午前9時30分～10時30分
※時間は受付時間
◎の場所は健康福祉センター
子育て健康課 健康づくり係 ☎(84) 5544

相 談

○ **法律相談**
平成29年1月10日(火) 午前9時15分～11時45分
町役場会議室(予約制) ※先着6人
予約受付期間 12月22日(木)～平成29年1月6日(金)
総務課 庶務係 ☎(83) 1221

○ **人権・行政相談**
12月15日(木) 午前10時～11時30分
※時間は受付時間
町民文化センター 第2学習室
子育て健康課 子育て支援係 ☎(84) 5544

○ **特設人権相談**
12月10日(土) 開催※詳細は8面参照
子育て健康課 子育て支援係 ☎(84) 5544

12月の水道修理当番

水漏れを発見したら、お電話ください。

当番日	会社名	電話番号
1～6、26、31	(有) 渋谷管工	(89) 2528
7～13、27	(株) 筆屋	(83) 0100
14～20、28	(有) 松田設備工業	(82) 0609
21～24、29	(有) 小宮石材	(89) 3205
25、30	(有) 加賀設備工業	(82) 4991

12月の納税

- **固定資産税** 12月26日(月)
税務課 資産税係 ☎(83) 1224
- **介護保険料** 12月26日(月)
福祉課 高齢介護係 ☎(83) 1226
- **国民健康保険税** 12月28日(水)
- **後期高齢者医療保険料** 12月28日(水)
町民課 国保年金係 ☎(83) 1225

※税金などのお支払いは、便利な口座振替をご利用ください。

●寺子屋まつだ

日時 12月10日(土)、17日(土)、1月14日(土)、28日(土) 午前9時～午後4時
場所 町民文化センター
内容 1講座50分
英会話、ペン習字、そろばん、コーラス、タブレット、数検・英検
申し込み 教育課 学校教育係 ☎(83) 7023

編集後記
きらきらフェスタ準備中の西平畑公園に、南足柄市の小学生が遠足で来園。牛乳パックのおもちゃ作りに夢中になったり、自然館を囲む林で元気に駆け回ったりしていました。子どものあんなに生き生きした姿を見たのは久しぶりで、公園の素晴らしさを再認識しました。(A)

祝100歳 おめでとうございます

お二人の方が100歳を迎えられ、10月24日に町長がお祝いに訪問しました。

嘉瀬井富喜子（かせいふきこ）さんが100歳を迎えられ、入所されている施設へ10月24日に町長がお祝いに訪問しました。

嘉瀬井さんは、ご家族が見守る中、町長からお祝いと花束を笑顔で受け取られていました。嘉瀬井さんは、5年前に、お住まいだった京都から松田町のご家族のお家にご住所を移されました。

それまでは、京都からお一人で新幹線を使って行き来されていたこと、戦後に外地から引き揚げて来られたことなど、いろいろなお話を聞かせてくださいました。



嘉瀬井富喜子（かせいふきこ）さん
大正5年10月19日生

文化財歴史ウォーク

歴史ウォークは、11月5日（土）、小田原・秦野など他市町からの参加者も多く定員を超える総勢41名の参加で盛会に開催されました。



虫沢地区 堅牢地神
の前にて

澄んだ青空と丹沢山の絶景を望み素晴らしい秋晴れのもと、文化財保護委員・福昌院住職の平賀康雄氏を講師に、奥の深い見識ある説明を受けながら約6.5km寄地区を歩いて回りました。龍王寺や福昌院などでの昼食や休憩もあり、参加者は、寄の歴史や自然に魅了され、遠き先人の姿に思いをはせていました。寄の良さを再認識した歴史ウォークとなりました。



福昌院 薬師如来厨子
三尊の説明をする講師



高橋美恵子（たかはしみえこ）さん
大正5年10月23日生

高橋美恵子（たかはしみえこ）さんが100歳を迎えられ、入所されている施設へ10月24日に町長がお祝いに訪問しました。

当日は、高橋さんの3人のお子さんをはじめ、ご家族や施設職員の方々にもお集まりいただき、お祝いムードが広がる和やかな雰囲気の中、お祝いや花束をお渡ししました。

また、ご家族そろって記念撮影をさせていただき、これからもお元気にお過ごしになれるようお話をさせていただきました。



カメラレポート



松田キャツスルズ「初優勝」

10月30日に南足柄市野球場で行われた、第4回松田自動車学校杯において、松田キャツスルズが見事優勝の栄冠に輝きました。同チームの天野監督は「準決と決勝は両試合共に完投、かつノーエラーと素晴らしい内容でした」と話しました。



エネルギーの地産地消

エネルギーの地産地消と、地域防災対策を推進するために、ほうとくエネルギー(株)・湘南電力(株)・(株)エナリスの3社と10月17日に協定書を締結しました。3社の協力を得て公共施設に太陽光発電と蓄電設備を設置し、財政負担なく、地域防災対策を推進していきます。

税の書道展・作文 入賞おめでとう

松田町長賞
寄中学校3年
井手 琴巳さん
題名「私たちが支える税金」

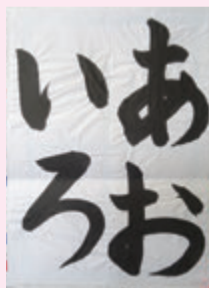
納連優秀賞
松田中学校2年
澁谷 佳那さん
題名「必要と不必要、得と損」

全国納税貯蓄組合連合会及び国税庁主催の「第50回 中学生の『税についての作文』コンクール」において、次の2人が松田町長賞・納連優秀賞をそれぞれ受賞しました。

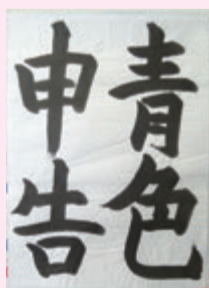
第50回 中学生の『税についての作文』



松田町長賞
松田小学校6年
高橋 和日南さん



松田町長賞
松田小学校3年
立橋 葵さん



さがみ信用金庫賞
松田小学校6年
鍵和田 三貴さん

【問い合わせ】
公益社団法人 小田原青色申告会
☎ (24) 2613

第35回 小学生の税の書道展

税を考える週間の事業として、県西地区の小学生を対象に行われた「第35回小学生の税の書道展」の受賞作品が、11月26日（土）から27日（日）にかけて小田原市民会館で展示されました。27日（日）に行われた表彰式で、2人に松田町長賞、1人にさがみ信用金庫賞が授与されました。



アウトドア流親子防災講座

10月30日に松田中学校体育館と川音川河川敷で実施した「あんどろりすさんのアウトドア流親子防災講座」に71人が参加しました。阪神淡路大震災の被災体験をもとにした、子どもや自身の守り方を学び、キャンプにも生かせる防災知識や、薪を使った火おこしも体験しました。



横芝光町との姉妹町交流

11月20日、松田町と昭和43年から姉妹町の関係にある千葉県横芝光町で開催された「第11回 横芝光町産物まつり」に参加し、サクランボの塩焼きの販売や鹿シチューの試食を行いました。松田のミカンは開始直後から飛ぶように売れ、用意した400キロはおよそ30分で完売しました。